

国語 ^α 中1

この本の使い方 この本は、確認問題(各2P)と練成問題(各2P)で構成されています。

- ◇ 確認問題 基本事項を確認します。
 - 📖 基礎的な漢字・熟語が読めるかチェックします。
 - 📖 文章のキーワードや難解な語の意味が理解できているかをチェックします。
わからない場合は国語辞書で調べましょう。
- ◇ 練成問題 確認問題ができれば、練成問題にチャレンジしましょう。

CONTENTS

1 漢字・語句 ----- 2～5

1-1 漢字

1-2 語句

説明的文章 ----- 18～21

6-1 説明的文章 要点・要旨をつかむ(1)

6-2 説明的文章 要点・要旨をつかむ(2)

2 文学的文章 ----- 6～9

2-1 文学的文章 細部をつかむ(1)

2-2 文学的文章 細部をつかむ(2)

説明的文章 ----- 22～25

7-1 説明的文章 段落構成をつかむ(1)

7-2 説明的文章 段落構成をつかむ(2)

3 文学的文章 ----- 10～13

3-1 文学的文章 主題をつかむ(1)

3-2 文学的文章 主題をつかむ(2)

説明的文章 総合問題 -- 26～27

4 文学的文章 総合問題 -- 14～15

9 易しい古文を読む ----- 28～29

5 詩 ----- 16～17

10 文法 文の成分／文節間の関係 -- 30～31

1-1

漢字

学習日

確認問題

1 次の□の漢字群を、あとの(1)～(4)の漢字の成り立ちに分類して、書きなさい。

日	上	鳴	河	一	岩	川	聞
洋	洗	林	末	客	桑		

□(1) 象形…物の形を象つた略画からできたもの。

□(2) 指事…絵では示しにくい事柄を、抽象的な記号やその組み合わせの約束によって表したもの。

□(3) 会意…二つ以上の字を組み合わせて、新しい意味を示したもの。

□(4) 形声…二字を組み合わせて、一方は音、他方は意味を表したもの。

2 次の(1)～(8)のごとくは、音読みと訓読みの二通りの読み方があります。それぞれの読み方をひらがなで書いて答えなさい。

□(1) 大事

音

()

訓

()

()

□(2) 色紙

音

()

訓

()

()

□(3) 生物

音

()

訓

()

()

□(4) 風車

音

()

訓

()

()

□(5) 国境

音

()

訓

()

()

□(6) 初日

音

()

訓

()

()

□(7) 大家

音

()

訓

()

()

□(8) 細目

音

()

訓

()

()

③ 例にならって、次の(1)～(10)の組の漢字に共通して付けられる部首「へん・つくり・かんむり・あし・かまえ・たれ・によう」を考えて、それぞれの漢字を完成させなさい。

例 田・内・氏・工〔へん〕 ↓〔答え〕 細・納・紙・紅

- (1) 重・多・火・少〔へん〕 ↓ ()
- (2) 原・先・則・永〔へん〕 ↓ ()
- (3) 干・半・貝・害〔つくり〕 ↓ ()
- (4) 川・丁・客・豆〔つくり〕 ↓ ()
- (5) 官・由・合・寺〔かんむり〕 ↓ ()
- (6) 玉・由・谷・各〔かんむり〕 ↓ ()
- (7) 田・非・士・亡〔あし〕 ↓ ()
- (8) 玉・大・寸・古〔かまえ〕 ↓ ()
- (9) 予・丁・付・車〔たれ〕 ↓ ()
- (10) 首・反・束・米〔によう〕 ↓ ()

④ 次の(1)～(6)の組から、——線部の漢字が一つだけ他と異なる意味のものを選び、○で囲みなさい。

- (1) 〔討伐〕 検討 討議 討論
- (2) 〔観覧〕 観客 静観 楽観
- (3) 〔問題〕 訪問 問答 質問
- (4) 〔情勢〕 情報 事情 愛情
- (5) 〔客間〕 来客 客観 接客
- (6) 〔整理〕 管理 処理 義理

⑤ 次の(1)・(2)について、縦・横ともに三字の熟語になるように、中央の□に入る漢字を考えて書きなさい。

□(1)

	注	
放	□	線
	器	

□(2)

	合	
演	□	家
	曲	

1-2

語句

学習日

確認問題

① 例にならって、次の(1)～(6)の文を、丁寧語を用いた表し方(で

す・ます)を用いた表し方()に書き直しなさい。

例 パンを食べる。↓〈答え〉パンを食べます。

□(1) 私は学級委員だ。

()

□(2) 父が本を出版した。

()

□(3) 昨日は祝日だった。

()

□(4) バスが来ない。

()

□(5) 明日は晴れるだろう。

()

□(6) 学校へ行かなかった。

()

② 次の(1)～(6)の文について、へ、くの意味を表したい場合、()にはどんなことばが入りますか。それぞれのあとから適切な方を選び、書きなさい。

□(1) 兄は、化学() 学んだ。

〈兄は化学とほかの学問を学んだ〉

〔を も〕

□(2) 夕食はカレー() いい。

〈夕食は、特にカレーが食べたい〉

〔が で〕

□(3) 本を三冊() 貸してくれた。

〈本を一冊か二冊ほど借りるつもりだった〉

〔も だけ〕

□(4) えんぴつ() ない。

〈筆記具が何もない〉

〔は さえ〕

□(5) 今年() 成功させる。

〈去年までは失敗していた〉

〔も こそ〕

□(6) 魚() 肉が好きだ。

〈魚と肉の両方が同じぐらい好きだ〉

〔や より〕

③ 例にならって、次の(1)～(4)について、同じ内容が言い換えられるように、()に適切なことばを書きなさい。ただし、——線部と対になることばを使ひなさい。

例 兄は妹より背が高い。↓〈答え〉妹は(兄より背が低い)。

□(1)
Aチームが、Bチームに敗れる。
←
Bチームが、()。

□(2)
石田君が、大山さんにギターを売る。
←
大山さんが、()。

□(3)
弟が、兄からリュックを借りる。
←
兄が、()。

□(4)
日本は、アメリカから小麦を輸入する。
←
アメリカは、()。

④ 次の(1)～(6)の四字熟語が完成するように、()に漢字二字を書きなさい。

□(1) () 同音

(意味…みんなが、言いあわせたように同じことを言うこと)

□(2) 半信 ()

(意味…うそか本当かが、はっきりわからないこと)

□(3) () 絶後

(意味…今までに例がなく、これからはありえないようなこと)

□(4) 自画 ()

(意味…自分で自分のことをほめること)

□(5) 一石 ()

(意味…ある一つのことをして、二つの得をすること)

□(6) () 絶命

(意味…追いつめられて、のがれる方法がないこと)

2-1

文学的文章

細部をつかむ(1)

確認問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〈群ようご〉「膝小僧の神様」より

15

10

5

① 本文中の次のことばの読みを確認しましょう。

 A 遅く B 機嫌 C 物干し D 縁側 E 外す F 甘い

② 本文中の次のことばの意味を確認しましょう。

 a ひとえに b 良し悪し c はき古す

③ 線①「いつもこうなら、本当に楽なだけだねえ」という

言葉からは、お母さんのどんな気持ちわかりますか。次から最も適切なものを選び、記号を○で囲みなさい。

ア「わたし」にいつもお手伝いをしてほしいと思う気持ち。

イお手伝いを「わたし」にもらって感謝する気持ち。

ウ「わたし」のたくらみに気付いて、腹を立てる気持ち。

エ思いがけない「わたし」の行動にとまどう気持ち。

④ 線②「自分にしてもらいたいこと」とは、本文中の場合で

は、どんなことですか。次から最も適切なものを選び、記号を○で囲みなさい。

ア 遅くまで起きているのを許してもらうこと。

イ 日曜日にデパートへ連れていってもらうこと。

ウ せんたく物を取りこんでもらうこと。

エ お父さんのサンダルをはかせてもらうこと。

⑤ 本文中から、「わたし」はどんな子であることがわかりますか。

次から最も適切なものを選び、記号を○で囲みなさい。

ア 気が弱い子。

イ まじめな子。

ウ 要領のいい子。

エ 心の優しい子。

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

㊦ (1) 本文中の次のことばの読みを確認しましょう。

A 玄関 B 腕 C 優しい

D 欲しい E 突き刺す F 反抗

㊧ (2) 本文中の次のことばの意味を確認しましょう。

a 上目づかい

b 完璧

c 見抜く

d 愛想

(3) 線①「おそかったねえ」と言うときの「わたし」の気持ち

として最も適切なものを次から選び、記号を○で囲みなさい。

ア 仕事で帰りが遅いお父さんを気の毒に思う気持ち。

イ お父さんの帰りが遅かったのを不思議がる気持ち。

ウ 甘えてみせて、お父さんを喜ばせようとする気持ち。

エ いつも仕事で帰りが遅いお父さんを非難する気持ち。

(4) 線②「わたしは下くちびるをつき出して、部屋のすみっこ

でいじけているしかなかった」とありますが、このときの「わたし」の気持ちとして最も適切なものを次から選び、記号を○で囲

みなさい。

ア こんなにひどいことを言うなんて、やっぱりお母さんはわたし

しのことが嫌いだったのね。

イ ちゃんと反省して、これからはお母さんの言うことをきちんと

と守るようにしなくちゃ。

ウ 本心から優しくしてあげようとしているのに、そんなことを

言うなんてあんまりだわ。

エ お母さんの言うことは当たっているけれど、そんなにはつき

り言うことはないじゃない。

〈群ようご〉「膝小僧の神様」より